

令和6年度参画と協働のまちづくりフォーラム アンケート結果

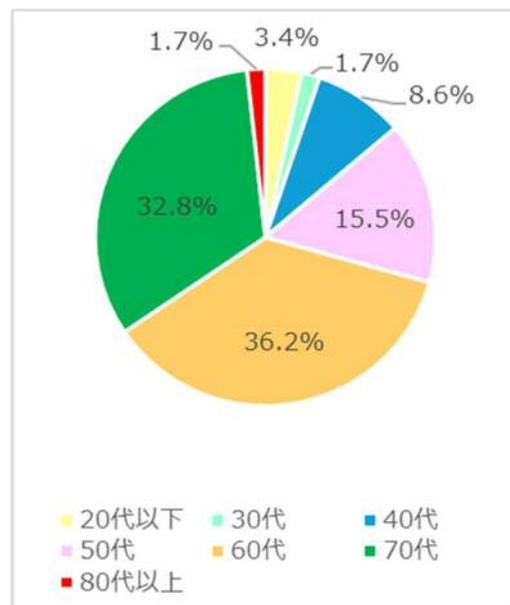
◆当日資料の配布数：97件

◆アンケート回答数：58件（うち：紙52件、電子申請6件） ➡ 回答率：59.7%

問1 参加者人数（年齢別）

問1 参加者人数（年齢別）	人数（人）	割合（%）
20代以下	2	3.4%
30代	1	1.7%
40代	5	8.6%
50代	9	15.5%
60代	21	36.2%
70代	19	32.8%
80代以上	1	1.7%

➡ 参加者の約7割の方が60代以上

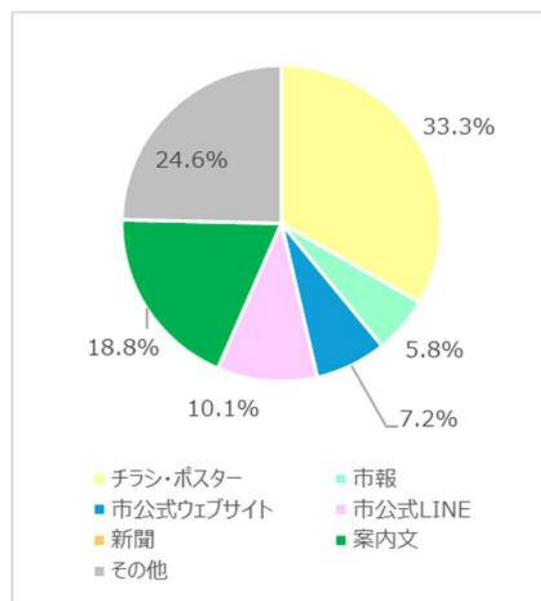


問2 本フォーラムを知ったきっかけ ※複数選択可

問2 本フォーラムを何で知ったか	選択数	割合（%）
チラシ・ポスター	23	33.3%
市報	4	5.8%
市公式ウェブサイト	5	7.2%
市公式LINE	7	10.1%
新聞	0	0.0%
案内文	13	18.8%
その他	17	24.6%

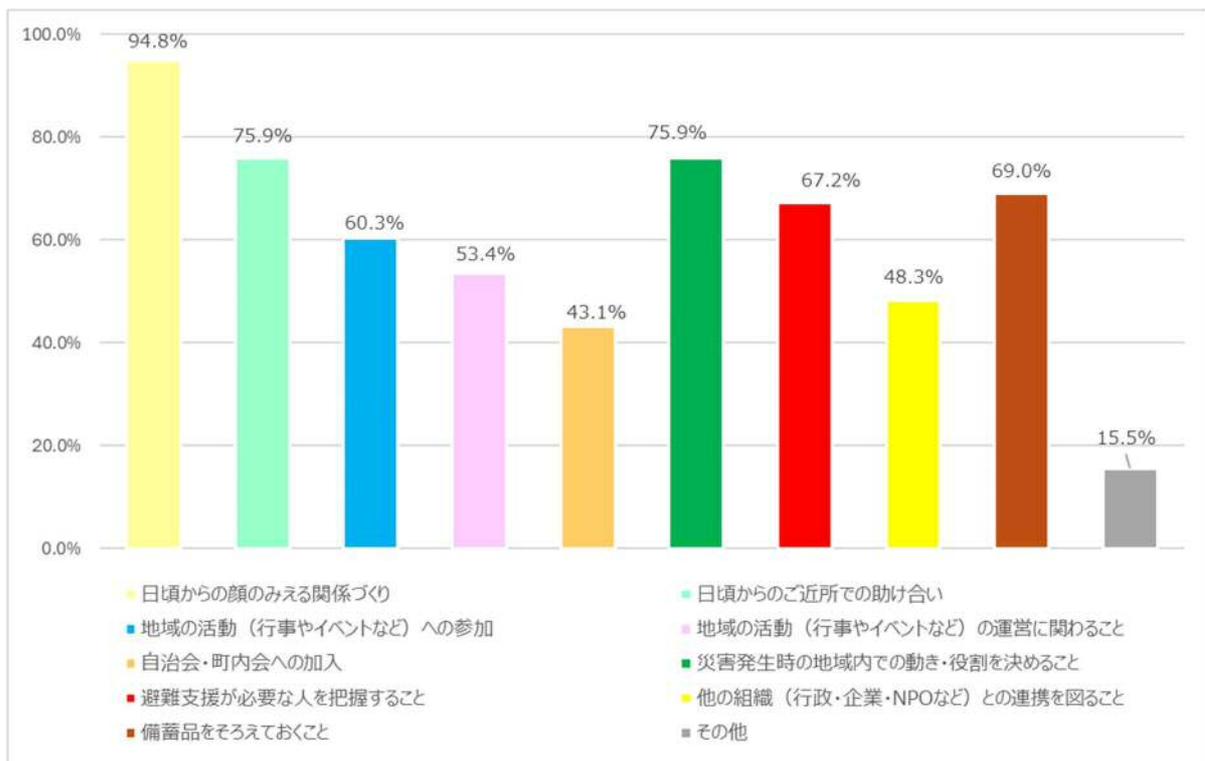
➡ その他（内容）

- ・ボランティアサークル
- ・地区公民館
- ・自主防災会長からの案内
- ・家族、知人からの声かけ
- ・パネリストからの紹介
- ・自治連合会



問3 フォーラムを通して大切だと感じられたこと ※複数選択可

問3 フォーラムを通して大切だと感じられたこと	選択数	割合 (%)
日頃からの顔のみえる関係づくり	55	94.8%
日頃からのご近所での助け合い	44	75.9%
地域の活動（行事やイベントなど）への参加	35	60.3%
地域の活動（行事やイベントなど）の運営に関わること	31	53.4%
自治会・町内会への加入	25	43.1%
災害発生時の地域内での動き・役割を決めること	44	75.9%
避難支援が必要な人を把握すること	39	67.2%
他の組織（行政・企業・NPOなど）との連携を図ること	28	48.3%
備蓄品をそろえておくこと	40	69.0%
その他	9	15.5%



➡ その他（ご感想など）

- ・「声」(助けて・何をして欲しいなど)を出す人は助けられる。その声を出せず、だまって耐えている人の声をどうやって聞き出すか・聞きたるか。声を出せる人は助けられるが、本当に困っている人は声を出せない人ではないだろうか。
- ・何もやらないより、何でもいいのでやってみる。
- ・地区の具体的な取り組みの話は大変参考になりました。

- ・発生時の動きを確認するときにタイムラインでいつだれが動くのか考えておくこと。
- ・防災運動会、楽しそうです。
- ・訓練が訓練で終らず、本気の取り組みを地域のみんなですることが、いざという時に役立つと思います。
- ・要配慮者に、避難計画を作成していただき、平時から関係づくりしておくこと。
- ・今日のお話を聞いて、自分が自分らしくどう行動して行けるのか考えさせながらこれから努力していきます。自主防災会の一員として、地区に住む一員としても、協力しあって地域につながって行動していきたいと強く思っています。

問4 ご自身（または地域、団体）で実際に心がけたいこと・取り組みたいこと

〔日頃の地域のなかの目線〕

- ・各種事業への参加の声かけを実施し、日頃より顔をおぼえていただく。（絆作り）
- ・高齢者の話が多かった気がしますが、私は若者向けの地域活動がしたいなと思いつづけています。自由にふらっと来れる居場所を作りたい。自然な出会い・つながりの場が必要ではないかと。SNS でいくらでも何でもできるけど、良し悪しもあると思います。災害の備えとしても集まれる場があるなど改めて思いました。
- ・地域での顔の見える関係を意識する。そのためにも、地域活動に積極的に参加したい。
- ・町内会で共助し合える組織づくり。声をかけやすい関係づくり→地域交流の機会を増やす。
- ・災害への備え・対策について、地域の住民一人一人が意識するキッカケとなるイベント等の開催を企画していく必要を感じた。
- ・地域住民の交流を深めるイベントを考えてみる。
- ・話をする事。
- ・地域行事への参加。
- ・他人事から自分事になる為に、また、防災に関するスイッチを ON にしていくような働きかけをしていきたい。
- ・人の命を救うのは、声をかけることが大事であることを改めて感じました。人と人の支えが生活をする上で大切だと思います。近所を気にかけて、声かけを意識していきたいと思います。
- ・一歩進み、話しかける。
- ・地域のつながりはあるが、防災力については弱いと思うのでもっと災害、防災について地域の方への学習に取り組みたいと思った。
- ・地域住民の方にいかにして災害・防災について関心を持ってもらうか。少子高齢化の中で、子どもたちに関心をもってもらう事と、現役世代(50~60 前半)に引き継いでいくか。高齢者でも取り組める減災への方法を考える。
- ・「つながり」「近所づき合い」「声かけ」のチャンスをつくるイベント・催し・集会・講演等をもっと実施したい。
- ・地区で災害が起こることの意識が低いので、関心をいかに持たせるか検討したい。

〔災害時に向けた目線〕

- ・在宅避難者の見守。備蓄品をそろえる。生活課題の把握。
- ・防災訓練に参加すること。防災は大人達だけの行事ではないと言われた事にそうだなと思いました。子どもにも小さい(小学生ぐらい)から意識づけをしていくのは良いと思いました。
- ・避難弱者の把握、災害が起きた時の避難経路の確認、備蓄品の準備など、災害への備えが必要と感じた。

- ・災害に強い地域づくりは、やはりしっかり自助できている事であると思いました。災害時まずは自分自身を守り、のちに他者の支援を行えます。なかなか災害にそなえる事は難しいですが。
- ・「支え愛マップ」づくりを進めていきたい。自主防災組織をしっかりとついでいくこと。減災への取り組み。
- ・当地区には、18の自治会がある。そのうち自主防災会と自治会長が別のところが4自治会である。避難訓練等はしているが、単発であるため、災害に対する意識の高まりが見られない。各自治会に自主防災会の設立をうながしたい。
- ・支え愛マップの作成。
- ・自分の避難先と経路の確認・避難をした時に何が出来るのか。
- ・高齢者要支援者の把握。
- ・安否確認を確実にを行う方法を確立したい。
- ・町内会での共助による事前訓練。
- ・地区間の調整をどう取っていくのか考えたい。
- ・既に取り組んでおり、このフォーラムをきっかけにさらに気持ちを強くした。
- ・地区公民館を避難所としてどのように使うのか、防災備品の情報など、地区全体で共有したい。
- ・防災士、防災リーダーの有効活用する方法を検討したい。
- ・一次避難所の確保を検討したい。

〔講演、各地区の事例発表について〕

- ・山下様の講演の中でまちあるきをして実際目でみてる事業は、取り組みやすく良いなと思いました。
- ・ちょっとした自分に余裕があれば、できることからはじめたいと思った。美保南地区の具体的な取り組みが、大変勉強になった。自ギャグネタを交えた小鷲河地区公民館館長さまのお話、防災の取組具体も、分かりやすく、印象に残る講演で参考になった。県外の取組で、防災運動会の企画を見たことがあったがこのように市内でなされているのを初めて知りました。ありがとうございました。（防災デイキャンプの紹介も聞いてみたい）
- ・運動会種目が固定化・マンネリ化ということがあり、とても参考になった。
- ・防災運動会は、たいへんよいと思いました。私の地区でも、町区対抗種目に取り入れたいと思いました。
- ・他地区の取り組みを知ることができ、子どもから高齢者が参加できるような内容、防災運動会みたいに楽しく参加しやすい内容を考えてみたいと思った。
- ・防災運動会・子ども防災キャンプ等、非常に役立った。
- ・災害発生時は被災地全体の方々が被災者になり得ます。当然ですが、県職員、市職員、警察関係、消防関係、地区防災関係者も被災している状況だと想定できます。そのような状況の避難所運営では、やはり防災関係者のスキルアップも必要ですが、避難者の防災意識を少しでも高める事（避難時持ち出し品等）でスムーズな避難や避難生活が出来ると思います。地区住民の避難訓練、防災講習の積極的な参加を推進する事で、防災意識向上に繋がると感じています。今回、パネルディスカッションで伺った小鷲河地区の防災運動会は、ユニークな参加型の防災講習だと思いましたので、この活動を参考にして文化祭等に応用出来たらな、と思いました。

問5 登壇者の皆さまへのご質問

◆登壇者全員

Q：それぞれの方に今の課題と今後の展望や取り組みたいことをうかがいたい。

山下氏

A：人口減少・高齢化や価値観の変化で、担い手の減少や地域での取り組みそのものの難しさがあります。こうした中で、住民・地域団体や各種団体、行政などがそれぞれの使命などに基づき役割を果たしながらいかに手を携えてともに取り組んでいけるかが肝になると思います。

今後その時々々の課題や「こうしたい」によって、若い世代に声をかけることも意識しながら「ともに取り組む」ことを地道に進めていきたいと思っています。

小谷氏

A：R5.8月の災害から約1年5ヶ月が過ぎ、住民の皆さんの災害に対する意識や関心が時間の経過とともに薄れてきます。取組みを推進する立場での思いは、なるべく早く町内全て（26町内会）の集落で防災研修会を実施したいと思っています。しかし、実際は全て（26町内会）の集落の防災研修会を終えられるのは、今の予定ではいろいろな事情で令和8年度までかかりそうです。目指すところは、防災研修会等を通じて全て（26町内会）の集落で「地域支えあいマップ」、「集落行動計画」等を作成するようにしたいと思っています。

西原氏

A：課題及び今後の取組としては、以下のとおりです。

○避難行動を起こす住民が少ない ⇒ 速やかな避難を促すこと

- ・研修会、講習会、防災訓練（避難訓練）の実施による避難行動への意識啓発
- ・町区自主防災会の活性化
- ・「災害時避難行動要支援者制度の確実な運用」や「支え合いマップづくり」等による支援体制づくり
- ・避難情報を的確に伝える

○避難所の速やかな開設と円滑な運営を行うこと

- ・防災士、防災リーダーの育成・強化
- ・防災訓練（避難所開設訓練）の実施
- ・防災資器材の整備・充実

○自分たちの地区は自分たちで守る意識の醸成

- ・雨水タンク設置の推進
- ・まち歩きツアーの開催 ⇒ 地域の水路等の状況を知ってもらう

横山氏

A：「楽しく学べる防災運動会」ですが、“おもしろ”、“おかし”の競技内容に偏り過ぎていた為、時間を割いてでも競技前に専門家にしっかり講義を受ける様にする。

参加率が40%強、逆に参加できなかった人：60%弱。

この人達の参加を如何に増やすか？一因として交通手段が無く、家から出られなかった！と考えて社会福祉協議会等と共同で“運動会の会場を避難所に想定した避難訓練”を行う。（社会福祉協議会が行う“地域の支え合い、助け合い”の地域づくり活動と連携や、鳥取市が行っている「災害時要支援者支援制度」の“避難行動要支援者個別避難計画”が機能しているかの検証）

◆山下氏

Q：私は、防災士として地区の自主防災会に参加して7年目になります。

昨年途中から事情もあり、自主防災会の責任者となりました。私が住んでいる町区は、古くからある集落で、顔の見える関係性がありました。しかしながら、少子高齢化の波が押し寄せて来ました。そんな中、ここ数年のうちに、市街化が進み、周辺は、若い世代の家並みに取り囲まれました。古い集落と新しい宅地は、お互いに交流がなく、新しい宅地には、町内会の発足に反対する勢力もあり、まとまりのない状態です。

そんな中、地区活動の有無や町内会の有無等に関わらず、同じ条件の同じ地区に自宅がある老若男女に共通の防災をキーワードとして、地区のコミュニティを形成できないかと考え、防災士の資格を取得する事から始めました。しかしながら、自主防災会の従来からの活動が優先して、私自身のスタートアップが出来ない状態です。何かヒントがありましたら、ご教授下さい。

A： 思いを持って取り組み始めようとされていること、敬意を表します。

特に取り組み始めるとつかりは難しいですね。

組織的な動きは難しい時に

- ・まずは自主防災会の組織内に限らず、同じような問題意識を持つ方を見つけ（そのためには大小・公式非公式を問わず、様々な場でこうした発信をすること）ともに取り組み方を考える
 - ・一防災士としてできる形で関わる
 - ・組織的な関わりがいくらかでもできるなら、自主防災会単独ではなく、他組織・学校などどこか一緒にやってくれるところと協働の活動・イベントなどを行う
 - ・できるところから着手することと、一方ですぐには難しくてもどのようなコミュニティになっていけばよいか思い描きながら（できれば思いを同じくする方を一人でも増やしながら）積み上げていく
- ということでしょうか。

◆小谷氏

Q：実施されたアンケートの設問が詳しく知りたいです。公開はしておりますか？またサイト等で閲覧は可能ですか？

A：アンケートの調査結果はウェブサイトでは公開しておりません。ご要望いただきましたら、紙ベースで調査結果をご提供できますので、市協働推進課までご連絡ください。

〔鳥取市協働推進課〕

TEL：0857-30-8176

Mail：kyodosuishin@city.tottori.lg.jp

◆西原氏

Q：防災リーダーを増やすには、どんな工夫が必要でしょう。

A：当地区では、各町内会に必ず1名以上の防災リーダーを確保することとしており、町内会長さんや町内自主防災会長さんに集まっていただく会議で防災リーダーを選出していただくよう願っています。また、防災リーダー養成講習会受講者には、地区から食事代（5,000円）を助成するなど、受講者の負担軽減を行うことで防災リーダーへのモチベーションアップに努めています。さらにグループLINEを作って情報共有を図っています。

Q：一次避難所の協定を美保南地区として企業と締結しているとの説明でしたが、各町内会でも町内会独自に一次避難所の確保をされていますか。

A：町内にある集会所を避難所としている町内会もありますが、独自に企業等と締結して避難所を確保している事例はありません。

なお、町内にある福祉施設では夜間の職員が少ないことから、町内会が施設入居者の避難等の支援ができるよう合同で避難訓練を行っている町内会もあります。

◆横山氏

Q：防災運動会種目6種目競技内容を細かく知りたい。

防災運動会の実例を知りたい。種目、実施方法の詳細を教えてください。（2名の方よりご質問）

A：市公式ウェブサイトにて当日の発表資料を掲載しております。

小鷲河地区の発表資料には各種目の内容等を掲載しておりますのでご確認ください。

なお、より詳細な情報を確認されたい場合は、小鷲河地区公民館までお問い合わせください。

〔鳥取市立小鷲河地区公民館〕

TEL：0857-84-2054

Mail：cc-kowashigawa@it.city.tottori.tottori.jp

問6 今後の参画と協働のまちづくりフォーラムにおける希望テーマ

〔防災テーマ〕

- ・地域内でできる防災に関してのイベントの提案
- ・ひきつづき防災についての話がききたい。
- ・中・高校生、大学生、若者が中心となって防災に取り組んでいる他県の支援団体、グループなどの事例紹介。テーマが防災だったからか、男性参加者が多かったので、男女共、また若い世代にも多く参加したくなるフォーラムとなつたらいいのかなと感じた。防災テーマでも女性にも参加してもらいやすい切り口となるのもいいですね。
- ・空き家対策(防災・減災・避難と関連させて)
- ・今は自然災害に関心が高いが、火災も必害のひとつなので、万が一発生したときの初期消火についての検討（高齢者では給水栓からのホース消火は難しい。昔ながらのバケツリレーや消火器をたくさん使うなど考え方や方法を考える。）

〔町内会などの地域コミュニティ〕

- ・町内会活動について・何故必要なのか・何故退会するのか
- ・まちづくりと町内会（町内会参加世帯の減少とまちづくりについて）
- ・地域コミュニティの強化
- ・住民の一人一人が参画したまちづくりの事例
- ・中山間地と市街地との交流の話をききたい。

〔その他〕

- ・人口減少への対応と中山間地のまちづくり。村が消えていくことに、どう対応するのか。
- ・鳥取は人が少なくて不便など、いろいろ物足りないところがあると思いますが、私は決して無駄ではないと思っています。若者を楽しませる活動がしたいという思いがあって日頃からアイデアを考えていますが、基本1人で悩んでいるので、可能でしたらそういったフォーラムを検討して頂きたいです。
- ・実施しやすい「イベント」「講演」「催し」の事案・項目、「実施方法」、「公的補助、助言等の窓口」「協力窓口」などをおしえてほしい。（市報等の印刷物はダメ）定期的に地区公民館で研修会を実施してほしい。集まる住民が少なくても、市主導で実施し続けてほしい。

令和6年度 参画と協働のまちづくりフォーラム アンケート



←左の二次元コードから
電子申請でも回答いただけます。
※回答期限：1/31（金）まで

お住まいの地域
() 地区

今後のフォーラムの参考としますので、個人としての率直なご意見をご記入ください。
なお、個人情報に関する部分について第三者へ提供することはありません。

(1) あなたのご年齢は？ 次の選択肢から選択してください。

20代以下 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

(2) このフォーラムの開催は何で知りましたか？ 次の選択肢から選択してください。

チラシ・ポスター 市報 市公式ウェブサイト 市公式LINE 新聞
 案内文 その他 ()

(3) 本フォーラムに参加して、^{もしも}災害に備えて日頃の生活の中でどのようなことが大切だと感じましたか。
次の選択肢から選択してください。(複数選択可)

〔地域の活動〕

- 日頃からの顔のみえる関係づくり
- 日頃からのご近所での助け合い
- 地域の活動（行事やイベントなど）への参加
- 地域の活動（行事やイベントなど）の運営に関わること
- 自治会・町内会への加入

〔災害時の動き〕

- 災害発生時の地域内での動き・役割を決めること
- 避難支援が必要な人を把握すること
- 他の組織（行政・企業・NPO など）との連携を図ること
- 備蓄品をそろえておくこと

その他

()

裏面に続きます →

(4) 本フォーラムをきっかけに、ご自身（または地域、団体）で実際に心がけたいこと・取り組みたいことはありますか。

[]

(5) 本フォーラム登壇者へのご質問がありましたらお聞かせください。

※いただいたご質問への回答は、後日市公式ウェブサイトにて公開予定です

- 質問先 山下氏（日野ボランティア・ネットワーク代表） 西原氏（美保南地区区長会長）
 小谷氏（災害に強い佐治町創り事業実行委員会会長） 横山氏（小鷲河地区公民館長）

[]

(6) 今後、参画と協働のまちづくりフォーラムで希望するテーマがありましたらお聞かせください。

[]

ご協力ありがとうございました。アンケートは回収箱に入れてください。